

## 令和元(2019)年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	あかつきデータ同化が明らかにする金星大気循環の全貌
研究代表者	林 祥介 (神戸大学・大学院理学研究科・教授) ※令和元(2019)年7月末現在
研究期間	令和元(2019)年度～令和5(2023)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>本研究は、地球シミュレータを使った「データ同化」法を用いて、現在観測を継続中である、初の金星気象観測衛星「あかつき」から得られるデータをもとに、金星の大気循環モデルを構築しようとするものである。得られたモデルから観測へのフィードバックをかけるなど、タイムリーな計画である。</p> <p>金星の大気循環、特にスーパーローテーションの機構は未解明である。それを解明することができれば学術的意義も大きく、「あかつき」による金星探査の意義を一層高める結果につながるものと期待される。</p>